

授業計画(シラバス)

科目名	建築計画	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に15年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	60時間		週時間数 5時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築計画】において、25点中20点以上の取得を目指す。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科 I 建築計画	気候・空気/熱
	2	学科 I 建築計画	光/音
	3	学科 I 建築計画	色彩/計画原論・用語・単位
	4	学科 I 建築計画	住宅建築/商業建築
	5	学科 I 建築計画	公共/各部計画
	6	学科 I 建築計画	建築生産/都市計画
	7	学科 I 建築計画	空気調和設備/給排水衛生設備
	8	学科 I 建築計画	電気・照明/消火・消防設備・省エネ
	9	学科 I 建築計画	厳選問題 I
	10	学科 I 建築計画	厳選問題 II
	11	学科 I 建築計画	厳選問題 III
	12	学科 I 建築計画	厳選問題 IV
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	建築法規	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に15年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	60時間		週時間数 5時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築法規】において、25点中20点以上の取得を目指す。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科Ⅱ 建築法規	用語の定義/確認申請・建築手続
	2	学科Ⅱ 建築法規	面積・高さ等の算定/一般構造
	3	学科Ⅱ 建築法規	耐火・防火/防火地域・準防火地域・防火区画
	4	学科Ⅱ 建築法規	避難施設・内装制限/構造計算・構造強度
	5	学科Ⅱ 建築法規	敷地等と道路・用途地域/建蔽率・容積率・高さ制限
	6	学科Ⅱ 建築法規	日影規制・雑則・その他/建築士法
	7	学科Ⅱ 建築法規	高齢者、障害者等の移動等の円滑化
	8	学科Ⅱ 建築法規	耐震改修の促進・住宅の品質確保
	9	学科Ⅱ 建築法規	厳選問題Ⅰ
	10	学科Ⅱ 建築法規	厳選問題Ⅱ
	11	学科Ⅱ 建築法規	厳選問題Ⅲ
	12	学科Ⅱ 建築法規	厳選問題Ⅳ
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	建築構造	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に15年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	60時間		週時間数 5時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築構造】において、25点中20点以上の取得を目指す。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科Ⅲ 建築構造	力のつり合い/反力
	2	学科Ⅲ 建築構造	応力/トラス
	3	学科Ⅲ 建築構造	断面の性質/座屈
	4	学科Ⅲ 建築構造	応力度/荷重・外力
	5	学科Ⅲ 建築構造	地盤・基礎/木造
	6	学科Ⅲ 建築構造	鉄筋コンクリート/壁構造
	7	学科Ⅲ 建築構造	鉄骨造
	8	学科Ⅲ 建築構造	構造計画
	9	学科Ⅲ 建築構造	厳選問題Ⅰ
	10	学科Ⅲ 建築構造	厳選問題Ⅱ
	11	学科Ⅲ 建築構造	厳選問題Ⅲ
	12	学科Ⅲ 建築構造	厳選問題Ⅳ
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	建築施工	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に15年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	60時間		週時間数 5時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築施工】において、25点中20点以上の取得を目指す。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	学科Ⅳ 建築施工	契約/施工計画
	2	学科Ⅳ 建築施工	管理計画/仮設工事
	3	学科Ⅳ 建築施工	地盤・土工事・基礎/鉄筋工事
	4	学科Ⅳ 建築施工	型枠工事/コンクリート工事
	5	学科Ⅳ 建築施工	鉄骨工事/コンクリートブロック
	6	学科Ⅳ 建築施工	木工事/防水工事・左官工事・タイル工事
	7	学科Ⅳ 建築施工	塗装工事・建具・ガラス工事
	8	学科Ⅳ 建築施工	内装工事・改修工事
	9	学科Ⅳ 建築施工	厳選問題Ⅰ
	10	学科Ⅳ 建築施工	厳選問題Ⅱ
	11	学科Ⅳ 建築施工	厳選問題Ⅲ
	12	学科Ⅳ 建築施工	厳選問題Ⅳ
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	設計製図	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に15年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	200時間		週時間数 20時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【設計製図試験】の課題を5時間で完成し、合格できる図面を仕上げる。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 設計製図試験		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	設計製図	製図の描き方
	2	設計製図	エスキース
	3	設計製図	エスキース
	4	設計製図	計画の要点
	5	設計製図	作図
	6	設計製図	作図
	7	設計製図	模試試験
	8	設計製図	模試試験
	9	設計製図	模試試験
	10	設計製図	模試試験
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	建築実務	指導担当者名	近内 広樹
実務経験	建設会社にて施工管理業務に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	90時間		週時間数 6時間
学習到達目標	教室リノベーション実習に伴う、施工図の作成・工事計画・施工管理・施工を行う		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材			
授業外学習 の方法			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	施工図の作成	工事全体の把握・各部詳細図の作成
	2	施工図の作成	工事全体の把握・各部詳細図の作成
	3	施工図の作成	工事全体の把握・各部詳細図の作成
	4	施工図の作成	工事全体の把握・各部詳細図の作成
	5	材料積算	施工図を基に積算を行う
	6	材料積算	施工図を基に積算を行う
	7	工事計画	工程計画
	8	工事計画	材料の手配
	9	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	10	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	11	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	12	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	13	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	14	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	15	竣工	引き渡し
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	建築設計	指導担当者名	高橋 悟
実務経験	建築設計事務所にて設計・監理業務に18年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	90時間		週時間数 6時間
学習到達目標	教室リノベーション実習に関わる設計・設計監理を行う		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材			
授業外学習 の方法			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	リノベーションの計画	現地調査
	2	リノベーションの計画	現況図面作成
	3	リノベーションの計画	プランニング
	4	リノベーションの計画	プランニング
	5	リノベーションの計画	プレゼンテーション
	6	リノベーションの計画	図面作成
	7	リノベーションの計画	図面作成
	8	実施設計	見積り作成・プレゼン
	9	実施設計	施工図作成
	10	実施設計	施工計画
	11	設計監理	設計監理
	12	設計監理	設計監理
	13	設計監理	設計監理
	14	設計監理	設計監理
	15	竣工	引き渡し
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	修了制作	指導担当者名	近内 広樹
実務経験	建設会社にて施工管理業務に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	180時間		週時間数 12時間
学習到達目標	教室リノベーション実習に伴う、施工図の作成・工事計画・施工管理・施工を行う		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材			
授業外学習 の方法			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	施工図の作成	工事全体の把握・各部詳細図の作成
	2	施工図の作成	工事全体の把握・各部詳細図の作成
	3	施工図の作成	工事全体の把握・各部詳細図の作成
	4	施工図の作成	工事全体の把握・各部詳細図の作成
	5	材料積算	施工図を基に積算を行う
	6	材料積算	施工図を基に積算を行う
	7	工事計画	工程計画
	8	工事計画	材料の手配
	9	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	10	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	11	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	12	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	13	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	14	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	15	竣工	引き渡し
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			